

ボランティアへの言葉

Aさん

ボランティアさんの訪問をいつも楽しみに待っていました。外出できない私に外の風を運んで来て、笑いのたえない会話で和ませていただきました。

がんサロンに妻と参加して、ボランティアさん手作りのランチとデザートをおいしくいただきました。主治医の先生や看護師さん、ボランティアさんたちと、また、がん患者同士の話らいに、心とむひと時を過ごすことができました。

Bさん

Cさん

聞き書きの小冊子が届いたのは、主人が亡くなってしばらくしてからでした。ボランティアの方が口下手な主人から辛抱強くお話を聞いてくださったので、私の知らなかったこともいくつかありました。心の支えにしたいと思います。

Dさん

父の命日に心暖まるハガキを頂き、誠に有難うございます。ボランティアの方にマッサージをしてもらい気持ちよさそうな顔した父の姿が目につきました。在宅で看取って本当に良かった。

NPO法人在宅ホスピスボランティア きぼう

NPO法人在宅ホスピスボランティアきぼうは、墨田区および近隣区の自宅等で療養されるがん患者さんやそのご家族を支援するほか、在宅ホスピス緩和ケアの啓発に関する事業を行い、がんになっても最期まで住みなれた地域で安心して過ごせるよう、がん患者さんの在宅ホスピス緩和ケアの推進に寄与することを目的としています。

代表 川越博美

お問い合わせ

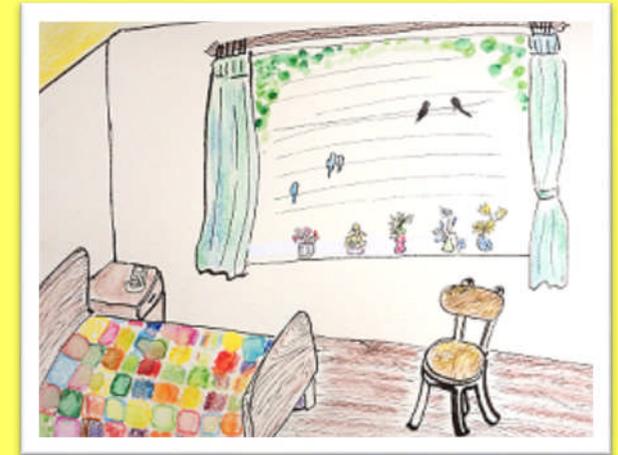
NPO法人在宅ホスピスボランティアきぼう

電話：03-5669-8302

FAX：03-5669-8310

E-Mail：info@volunteer-kibou.org

がん末期を在宅で過ごす 患者さん・ご家族を 支えます



NPO 法人在宅ホスピスボランティアきぼうは、地域に根差した在宅緩和ケアの啓発、ボランティアの養成・訪問事業を展開する組織です。

NPO法人在宅ホスピスボランティアきぼう

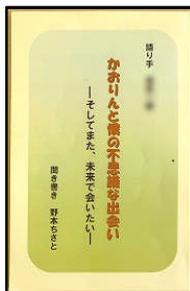
NPO法人在宅ホスピスボランティアきぼう こんな活動をしています

😊 患者さん宅の訪問

医療者などの緩和ケアチームの一員として、がん患者さんの家を訪問し、話し相手、買い物、ご家族不在時の留守番、などを行います。

😊 「聞き書き」冊子の作成

患者さんのお話を「聞き書き」手法によって原稿におこし、冊子にして患者さんやご家族にお渡しします。自分の人生を振り返り、今を生きる意味を語ってくださいます。



😊 手作りグッズの作成

患者さんへのプレゼントとして、手作りの小物やカードを作成し、クリスマス等にお贈りしています。

😊 グリーフケアの実施

ご遺族のケアを目的に「メモルの集い」を企画・運営。また、1年目の命日にご遺族への手書きの八ガキ（命日カード）をお送りしています。

😊 がんサロンの開催

がん患者さんやご家族のための「がんサロン」を開催しています。私たちが心を込めて作ったランチをともにしながら、気持ちを分かち合う場です。関係する医療者の方に同席いただくこともあります。



😊 在宅緩和ケアの相談対応

「家で過ごしたい」「家に帰りたい」「退院するように言われた」「どこに相談していいかわからない」など、がんの在宅ケアで困った時にご相談ください。看護師の資格を持ったボランティアが対応します。

😊 在宅緩和ケアの地域啓発

墨田区を中心に、在宅緩和ケアの講演会や勉強会を開催しています。専門の講師を招き、公共施設などを活用して、在宅緩和ケアの啓発活動をしています。



😊 ボランティア養成講座開催

東京都及び近隣県の方を対象に、「在宅ホスピスボランティア入門講座」を開催し、ボランティアを養成しています。

地域医療機関との協働

小さな宿泊所（有床診療所）でのケア

墨田区で在宅緩和ケアを実践しているクリニックに「小さな宿泊所」（有床診療所）があります。この施設は、在宅での緩和ケアを支えるための緊急の“ひなんじょ”です。在宅緩和ケアを選択された末期のがん患者さんやご家族が、退院後の不安な時、家族が疲れた時、一人暮らしで在宅が無理になった時などに利用していただくための新しいタイプの施設です。この施設で、NPO法人在宅ホスピスボランティアきぼうのボランティアは、患者さんのそばに寄り添ってケアをしています。